

効果測定指標値

テーマ1【したしむ】

効果指標	H23	H25	H27
文化芸術イベントの鑑賞・参加をした市民の割合 (市民意識調査 H23年度から調査)	55.3%	57.0%	60.0%

テーマ2【はぐくむ】

効果指標	H23	H26	H28
文化振興課が実施するワークショップや作品募集 に参加する小中学生の割合	3.3%	3.6%	4.0%

テーマ3【ささえる】

効果指標	H22	H26	H28
岡山シンフォニーホールの稼働率	76.1%	78.0%	80.0%
岡山市民会館の稼働率	69.8%	72.0%	74.0%

テーマ4【つなぐ】

効果指標	H23	H26	H28
おかやま国際音楽祭への市外からの来場者の割合	28%	32%	35%



岡山市市民局文化振興課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

電話086-803-1054/ファクス086-803-1763

ホームページ <http://www.city.okayama.jp/shimin/bunka/>

E-mail bunkashinkou@city.okayama.jp

岡山市文化芸術振興ビジョン

— 概要版 —



岡山市

平成24年3月

文化・文化芸術とは

文化は人の心を豊かにするとともに、人と人をつなぎ、相互に理解し尊重し合う土壌を育て、心豊かな社会を形成するものです。また、地域の文化は、歴史や風土とそこに暮らす人々の営みから育まれてきたものであり、その地域の個性を表すものです。

現在のわが国は、国際化の進展、経済のグローバル化、長引く景気の低迷、少子高齢化に伴う地域コミュニティの変容、環境問題や相次ぐ自然災害など、時代の潮流にさらされており、こうした変化が著しい社会情勢の中では、文化は心のよりどころとして、さらには人と人、人と地域を結ぶ絆としての重要性をいっそう増しているともいえます。

文化とは、広義に定義づけると衣食住や生活様式など「人の生活すべてにまつわるもの」に広がっていきます。しかしながら、本市の施策方針を策定するにあたっては、対象や範囲をある程度限定した方が効果的であり、ここでは、平成13年に制定されたわが国の文化芸術振興基本法にない、音楽、舞踊、演劇、美術、伝統芸能、文学、華道、茶道、書道など、いわゆる「文化芸術」を基本としながら、史跡をはじめとする文化財、民俗芸能や習俗、食文化などの歴史文化資源や、魅力ある街並み・景観の保護なども含めた、広範な解釈をしていきます。



位置づけ

本市では、「岡山市都市ビジョン[新・岡山市総合計画]」（以下、「都市ビジョン」といいます。）で、「文化力で岡山の誇りを高める」ことを基本方向の一つに位置づけて都市づくりを進めています。その実現に向けた道筋を示すため、国民文化祭の成功によって文化芸術振興に対する市民の気運が高まっている現在を好機ととらえ、「岡山市文化芸術振興ビジョン」を策定します。

「岡山市文化芸術振興ビジョン」は、文化芸術振興基本法の目的・理念にのっとり、本市の都市ビジョンをふまえて、岡山県や近隣自治体との連携を図りながら、「文化力で岡山の誇りを高める」ために、どのような施策を展開するべきかという方向性を定めるものです。

都市ビジョンの最終年次である平成37年度を目標とし、その中間年で前期計画の終期にあたる平成28年度までを当面の対象期間とします。

岡山市の文化芸術振興の方向性

「岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市」をめざします。この目的実現のために、どこに向かってどのように進めばよいのか、というテーマを4つに整理しました。

テーマ1【したしむ】市民が気軽に文化芸術に親しめる岡山市

【期待される効果】

- ・市民が心のよりどころを得る、自己実現につながる
- ・感性が豊かになり、コミュニケーション力が養われる

【方向性】

既存の文化資源、多彩な人材を活かし、そのネットワークづくり等を通じて、市民がいつでも気軽に文化芸術を楽しめる環境をつくる。文化芸術に親しんでいる市民、そうでない市民、それぞれに応じて参加・鑑賞の促進を図っていく。

テーマ2【はぐくむ】文化芸術を担う創造力豊かな人材の育成

【期待される効果】

- ・人材育成に重点的に取り組むことにより、テーマ1「したしむ」、テーマ4「つなぐ」の実現につながる

【方向性】

「表現する人」、企画やスタッフとして「参加する人」、「支援する人」など、文化芸術のあらゆる担い手を育成する。子ども・青少年の育成に重点的に取り組む。

テーマ3【ささえる】文化芸術の活動環境の向上

【期待される効果】

- ・人材育成に取り組む一方で、文化芸術の担い手の負担を軽減することにより、さらなる活躍が期待される

【方向性】

会場の確保や事務手続などの負担軽減のため、施設や各種手続に関する情報を集約し、わかりやすく提供する。施設間の連携を図り、利用者の利便性を高める。

テーマ4【つなぐ】文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市

【期待される効果】

- ・市民が郷土への誇りと愛着を感じ、郷土の文化を次世代に引き継ぐ
- ・地域の絆が深まることで、地域の課題解決力が向上する
- ・都市イメージが向上し、外から訪れる人が増える
- ・多彩な人材が集積し、社会経済面で新たな価値を生み出す

【方向性】

文化芸術それ自体の価値だけでなく、人と人、人と団体、団体と団体をつなぎ、輪を広げ交流促進するという効果を重要テーマと位置づけて文化芸術の振興を図っていく。市内外から人が集うよう、魅力向上を図る。

テーマ1【したしむ】 市民が気軽に文化芸術に 親しめる岡山市

(1) 市民の鑑賞機会の確保・促進

- ◆鑑賞は参加や支援の土壌づくりにもなる。まずは鑑賞から。
 - ◆民間と行政の役割分担・連携により、多様な鑑賞機会を提供する。
 - ◆わかりやすい情報提供により、鑑賞のきっかけをつくる。
- 《おもな事業等》 ●岡山市芸術祭、おかやま国際音楽祭の魅力向上
●文学フェスティバルの開催

(2) 市民参加の促進

- ◆現在行っている事業の周知・浸透を図る。
 - ◆きめ細かいニーズ把握に努め、参加体験型イベントを充実する。
 - ◆子ども、高齢者、障害者を対象とする施策との連携を図る。
 - ◆市民参加に役立つ情報の集約・発信を行う。
- 《おもな事業等》 ●(財)岡山シンフォニーホールによる音楽活動普及事業
●芸術文化団体の活動に関する情報提供



テーマ2【はぐくむ】 文化芸術を担う創造力 豊かな人材の育成

(1) 担い手の育成

- ◆表現する人、スタッフ、企画する人等、多様な人材の育成を支援する。
 - ◆ボランティア等で参加する市民層の拡大を図る。
 - ◆ワークショップ等の開催による人材育成を図る。
- 《おもな事業等》 ●市民学芸員の育成
●イベントプロデューサーの育成

(2) 子ども・青少年の支援

- ◆人材育成の第一歩として、子ども・青少年を支援する。
 - ◆日頃接する機会の少ない日本の伝統文化、郷土芸能などを中心に、様々な文化芸術の担い手を育成する。
- 《おもな事業等》 ●チルドレン・ミート・アート・プログラムの拡充
●岡山フィルハーモニック管弦楽団による学校公演

(3) 芸術文化団体間の連携・支援

- ◆芸術文化団体同士の交流促進を図る。
 - ◆芸術文化団体に関する情報集約、活用推進を図る。
 - ◆芸術文化団体の特性の把握と、最適な連携・支援を検討する。
(アンケート・ヒアリング調査、意見交換会の実施など)
- 《おもな事業等》 ●芸術文化団体の交流促進
●芸術文化団体登録制度の拡充



岡山市文化芸術振興ビジョンの体系

岡山市の現状

恵まれた
文化資源
【もの】

多彩な人材と
芸術文化団体
【ひと】

市民からの
期待
【これから】

進むべき方向

テーマ1【したしむ】
市民が気軽に文化芸術に
親しめる岡山市

テーマ2【はぐくむ】
文化芸術を担う創造力豊かな
人材の育成

テーマ3【ささえる】
文化芸術の活動環境の向上

テーマ4【つなぐ】
文化芸術を次世代へつなぎ、
人と人との交流する岡山市

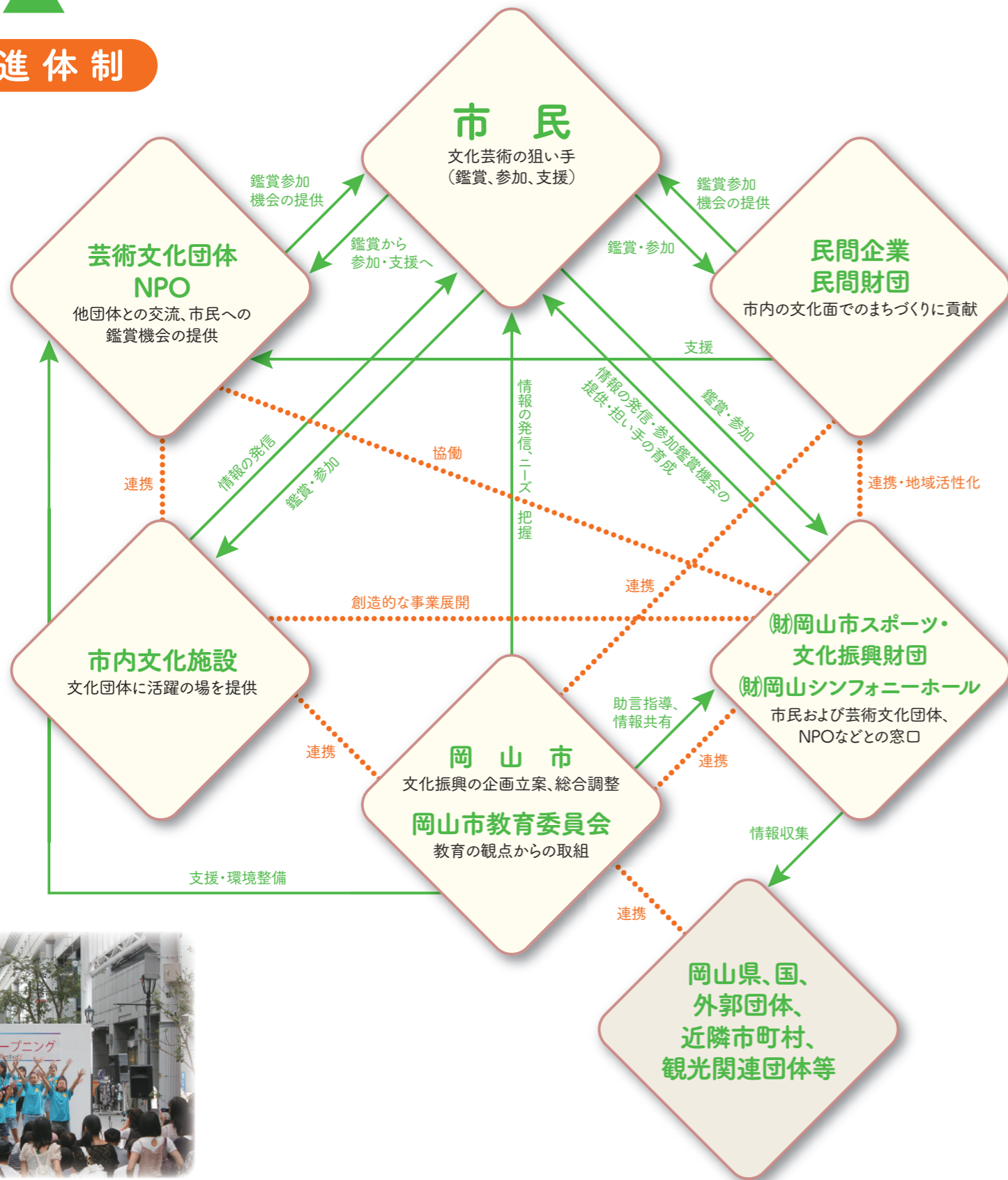


目的

(めざす姿)

岡山に暮らす人々が地域への愛着をもちながら、いきいきと暮らせる豊かな文化都市をめざす。

推進体制



テーマ3【ささえる】文化芸術の活動環境の向上

(1) 活動環境の向上

- ◆各施設の連携協力を進め、運用の改善を図る。
 - ◆施設や各種手続に関する情報等、役立つ情報を集約・提供する。
- 《おもな事業等》
- 施設間の連携、施設情報・空き情報のホームページ公開
 - 文化芸術の担い手に役立つ情報の集約・提供

(2) 様々な支援のかたち

- ◆各種助成制度等の情報を集約する。
 - ◆文化芸術への気軽な支援の輪の拡大に努める。
- 《おもな事業等》
- 区づくり推進事業補助金等の活用促進
 - 各種助成・寄付、メセナ事業の情報収集と活用事例等のPR推進



テーマ4【つなぐ】文化芸術を次世代へつなぎ、人と人が交流する岡山市

(1) 交流促進

- ◆文化芸術を通じて国際交流を促進する。
 - ◆世代間交流を促進し、文化芸術を次世代に引き継いでいく。
- 《おもな事業等》
- 国際友好交流都市等との文化交流の促進
 - 三曲ジュニアフェスティバルの継続発展

(2) 魅力向上

- ◆市内および市外・県外・国外からも人が集まる魅力をつくる。
- ◆過去・現在・未来のすぐれた芸術家・文芸家を顕彰、支援する。
- ◆地域ごとに異なる魅力を活かした取組に対し、連携・支援を図る。
- ◆市民が岡山のことを学び、魅力を知るための情報の集約・発信を図る。
- ◆歴史・文化的景観を、美しい岡山固有の景観として守り、育てる。

- 《おもな事業等》
- 坪田譲治文学賞の実施
 - カルチャーゾーン一帯の魅力向上の取組

